

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

春季号

日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Spring 1976

▼ 連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

“説教のない説教”

高瀬 恒 徳

私どもの教会の信徒で、長野県八ヶ岳山麓に、黒沢次郎という篤信の方がいる。大平洋戦争も敗色が濃くなった昭和十九年のこと、礼拝の後で「先生、今朝のお説教の原稿を下さいませんか」と言う。「え、どうぞ」と言つて渡した。

それから三十年を経た最近のこと「今ではこれも先生のご参考になるかも知れません。お返しします」と言つて持つて来た。見ると反古になった紙の裏に謄写版で原稿紙型になり、それに筆で書いてある。説教題は「説教のない説教」。引照した聖句は「僕さく、主よ、語りたまえ」(サムエル前三・四)「汝ら彼に聞け」(ルカ福音書九・三四)。そして次の例話が二つ載せてある。

○ 一つは良寛和尚が放蕩息子で困っている家に招かれ、「息子に説教をして下さい」と頼まれ、沢山の御馳走にはなつたが、さっぱり説教をしてくれない。そのうち良寛が「わしはもう帰るよ」と言い出した。良寛が立ち上ると息子は土間に降りて良

寛に草鞋をはかせていた。すると熱いものが息子の手の甲に落ちた。息子が見上げると良寛は泣いている。堪らなくなった息子は「わあ」と声を上げて泣いた。良寛は息子の肩に手を置いて「よく判つたな。これから親不孝をしてはならんぞ。よい息子になれよ。」と言つた。息子は生れ変わった。

○ も一つ特攻隊の話。これは日本軍の最後の切札で、爆薬を満載した飛行機で敵艦に体当たりする戦術である。特攻隊の青年は上官、同僚に恭しく直立不動の姿勢で、最後の敬礼「行きます」と一言。エンジンのかゝっている操縦席に飛び込む。こゝには何の説教もない。あるのは殉国の死のみ。凄惨、鬼気身に迫る。以上の実践は語る。空しい言葉の遊戯をやめよ。汝自身が隠れて、ただ主の十字架のみ言を語りしめよ。「汝らこれに聴け！」

○ 序にもう一例。私は五十八年間東大学生寮の世話をしている。ある日

一青年が入舎した。ある教派の牧師の子である。「君は洗礼を受けたか」と聞くと「僕は絶対に受けない。キリスト教は嘘だ。親父が自分も泣き会衆も泣かせて凄いい説教をしているのを聴くと全くのお芝居。キリスト教は嘘だ。商買だ。これが僕の体験だ」と言う。

神道は説教なんかしない。しかし新年など何千万という人を集めている。徒らに「騒がしい饒鉢」(第一コリント一三・一)の如く、「人の声のみ多くして」神のみ言葉が消されてはいないか。「説教のない説教」

『アシュラムの歌』に

二人の音楽家が作曲

小柴資子姉作詞の『アシュラムの歌』(第十三号所載)に期せずして二人の作曲家が曲をつけて下さった。その一人は鶴崎庚一氏(国立音楽大学教授)で小柴姉と同じ碑文谷教会員、故鶴崎庚五郎先生(旧メソジスト元老)の孫に当る方である。大石総務理事のお世話による。今一人は長嶺俊一氏(宇都宮音楽事務所長)で関東地区の帆足誠委員のお世話による。同氏は帆足氏の国立ナザレン教会で受洗、宇都宮音大卒で現在、宇都宮ナザレン教会員である。前者は四拍子で明るく躍動的、後者は六拍子で静想的とも評すべきか。

発行者 東京中央文庫 編集者 東中碑文 発行所 海大 定価 1千

山根可式著 『アシュラムの恵』(百円)

日本のキリスト教会の肉づけはアシュラム運動によって!!

黒田 四郎

日本画と西洋画との差

日本の西洋画家の作品には、随分立派な傑作がたくさんある。しかし日本画家の傑作にくらべると、まだなんとなく力弱さを感じられる。日本のキリスト教も立派なクリスチャンを多く出したが、やはり仏教の高僧にくらべるとまだなんとなく、信仰に徹し切れていないことを感ぜずにはおれない。

宣教百年を迎え信仰体系は一応確立されたようである。しかし個人的生活と社会生活において、これこそが言い得るクリスチャンの理想像がまだ完成されていない。

日本を愛し切ったジ博士

大戦後、日本が亡国のドン底にあえいでいた時、スタンレージョーンズ博士はいち早く日本を助けに来て下さった。昭和廿四年から二年目毎にやって来ては、一生戦命に日本の教会を立ちあげらそうと全力を注いで下さった。

深い愛と洞察力と指導力とをふり絞って、信徒伝道の必要、訪問伝道の実力、職域伝道の方策などを日本の教会に注射して下さった。それによって日本の教会はやっと息を吹きかえすことができた。

しかし博士は東洋の日本人に最も必要なものとして、アシュラム運動を植えつこうと全力を注がれた。

私とアシュラム

私は元来スロースタターで、新しい企にすぐとびつけない性質である。それでジ博士と賀川豊彦とがプリンストン神学院でクラスメートであったにかゝわらず、第一回のアシュラムには参加しなかった。ところが長男が四国アシュラムに出席して、大きな感銘を受け、『パパもぜひ出席するといふよ』とすゝめてくれたので第二回の天城山におけるアシュラムに、家内と一緒に参加した。驚いたことに家内がまず回心した。長い間解決できなかった問題を決して頂きたいと、心の時に告白した。その第一夜の集いはっきりと祈の応答を経験してしまった。彼女は泣きつゝもあかるい喜びの心に満たされて幸福そうであった。

スローな私も四日目の朝起き出た時にはじめて聖霊にみたまされる経験をした。私はあかるい喜びにみち溢れ、からだも心も軽くなり、まるで天国に導かれたような気持ちになった。私はもしや両肩から羽根がはえていないかとうしろをふり向いて見たほどである。

私は九才の時「牧師さんにしてちょうだい」と祈って以来、五十年近くあらゆる集会に出席して来たが、こんな経験は初めてであった。かくて私はアシュラムに捉えられ、この運動で導かれ、長くこの運動の責任者をつとめさせた。

アシュラム運動の五階段

日本アシュラムはその生活運動の原則を五項目によくまとめて五大原則としてゐる。(欄外参照)

この五階段は、私共を騒がしい世の傾いから、神の御前に跪かせ、自分の一番欠けている事をはっきりと自覚させ、心から謙遜になって神との深い対座に導いてくれる。東洋人である私共は、この境地に至らねばどうしてもみたまされぬ。

神学派・聖霊派・社会派

神学的に信仰の確かさを味っている者も、一応その知性を越えて、神の前に子供となる必要がある。それで五大原則の2と3との階段を登ってゆく必要がある。然しそこで止っては、神秘主義的汎神論的信仰に陥ってしまう。そこで祈のうち、神の御言に沈潜する必要がある。

また信仰に徹し、聖霊にみたまされたいと自認する人も、更に静かな場所に退き、自己の欠けを反省しみ言を深く味い信仰内容を深め、品性と生活に、一層の調和と美とが与えられる必要がある。

また社会的活動に力を入れている人達も、欧米的なもの直訳だけでなく、静かな所に退き、神に跪いて、御言をきくことにより、真実に神の国を来たらせるための活動が進められるのではないか。私は今日混乱している日本の教会が、アシュラム運動によって、ほんとうの力ある姿に導かれるものと信じてゐる。

クリスチャン・

アシュラムの守り方(三)

▽開会礼拝

先にアシュラムの五大原則について聊か解説めいたことを述べましたが(本紙第七号—十一等参照)以下それらの原則に添いつつ、いかにそれを展開するかの実際に関する私見を御参考までに述べたいと思います。(山根可式著アシュラムの恵も併読下さい)

まず開会礼拝ですが、参加者の全員が時間前に静まって開会を待つようにして頂きましょう。オーガニストが霊的なさびかさを静かに祈りをこめて奏してくれらると有難いと思います。

メッセージは委員会が用意した主題と聖句について、委員会の代表者が主イエスの御心を取次ぐもので、それによって今回のアシュラム全体の基調が一同に明らかになれることを望みます。

次に短かい時間のオリエンテーションの時を持ち、委員の一人によって「アシュラム退修会」の性格につき、説教者中心の単なる霊的な聖会でもなく、また講師の講義を中心とした研究協議会でもなく、クリストを中心し御言を聴き祈りの交わりを体験して、霊的に整えられ、今後の日常における信仰生活、教会生活を強く進め得る者となるように訓練を受ける時であることを説明します。

その後、期間中の日程と司会者や助言者の紹介をし、参加者一同にも住所、氏名、教会名、職業、参加回数等を簡単に自

アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明徴し

高瀬恒徳先生の米寿を祝す

去る二月一日に八十八才の誕生日
えられた高瀬先生の御健康を、全国
シユラムの兄弟姉妹と共に祝福しよう。

先生は立教大学、聖公会神学院を卒業
大正七年に聖アモテ教会伝道師となり、
十三年長老接手を受けて牧師に就任、
翌年米国のフィラデルフィア神学院に留
学、二年して帰任、昭和四四年に名与牧
師となられるまで六十余年の司牧伝道に
当られた。更に教務院長、監督接手を受
け主教として聖公会全体のために奉仕さ
れ、また各派との協調に努め、NCC視
聴覚センター理事長、教育事業部副理事
長、文書事業部の伝道文書委員などの要
務に尽され、近年はスタンレーショーン
ズ博士第十回日本従断伝道中央委員長、
引続いて誕生した日本アシュラム連盟の
初代理事長に就任、「日本のスタンレ
ー」として各地のアシュラムを指導され
た。若き頃より詩的文才に長じ、三冊の
詩集、一冊の訳詩集(キープル著)、M R
Aを紹介した「思想戦の唯中を行く」
前夫人を偲ぶ「茂子抄」、秋元夫妻の物
語「異郷に咲いた花」「鑑賞日本基督者
詩人集」創立七十年記念の「弥生が丘の
教会」を著作、他に新聞雑誌などに寄稿
されたものは数え切れない。

幼少の頃十才までは持つまいと宣告さ
れ、青年時代には胸を病んだという万病
の持主で泣虫であったという先生がかく
も長寿を恵まれ、多くの尊い働きに用い
られたのは、先生自身が米寿記念に出版
された第三詩集「草原無門」の序文に書
いておられる通り、神の恵みであるにち
がいない。

在京のアシュラム有志は一日国際文化
会館に先生御夫妻を招いてささやかな祝
賀会を開いた。今回全国理事会に於て本
連盟の顧問として後進の御指導を仰ぐこ
とになった。二期四年にわたる理事長と
しての御奉仕を感謝しいよいよ主の豊か
な御守りの下に平安な余生を健康でお過
し下さるよう心から祈ってやまない。

▼報告▲

城北アシュラム(6回)

去二月十二日新宿西教会に
七十四名の多数参加

池ノ上、中野バプテスト、新宿西、江
古田の四教会共催の城北アシュラムは、
第六回を新宿西教会の当番で周到な準備
の下同教会を会場として開かれた。

朝九時半には続々と参加者が受付事務
をすませて礼拝堂に着席、静まって開会
を待つ。別室では委員の祈りが捧げられ
ていた。十時開会礼拝で海老沢牧師は今
回の主題「聖霊による革新」とテトス書
三章四一六節により、ペテロの生涯を実
例として、十字架の贖いと聖霊を受けて
からの改変について語られ、アシュラム
の五原則についてのオリエンテーション
をされた。続いて開心の時を大久保牧師
の司会で持ち一同がニードを告白し、キ
リストへの明渡しをした。中食は階下で

新宿西の婦人会により心のこもった中食
を共にし、各教会ファミリー毎の紹介と
挨拶の交歓で楽しい時を持った。午後は
再び礼拝堂で山根牧師の司会により静聴
の時を持ち、テトス書を通して主の御声
を伺い、恵みの分かち合いをした。続いて
「祈りの細胞」五分団に分れ、各自の欠
点を述べ聖霊のお助けを互いに涙のうち
に祈り合った。いよいよ最後の「充滿の
時」は岡田牧師の司会により、聖霊の充
満を受け、献身奉仕の決意が多くの人々
から表明され、主の御栄光が堂に満ちる
のを覚えた。一同が手を組んで、イエス
を主とした兄弟姉妹の一致を体験し感謝
に溢れて散会した。新宿西教会の川名兄
初め御一同の御奉仕を心より感謝したい

全国理事会(五回)開かる

三月八・九両日東京にて

既報の通り二年ぶりに各地区代表理事
十五名が目黒みやこ荘に参集、まず開会
礼拝を高瀬理事長の司会奨励のもとに守
り、「説教なき説教」と題するメッセー
ジに深い感銘を受け、引続いて全国各地
のアシュラムのために一同熱帯が捧げら
れた。

午後三時から靈交の時を海老沢理事の
司会で守り、日本クリスチャン・アシュ
ラムの精神とその運動をいかに展開すべ
きかについて胸襟を開いて話合われた。
次で各地区の報告あり、七四年度は十四
ヶ所で参加者七五三名の下に開かれ、七
五年度は十六ヶ所で七一五名の参加者を

- (三) 聖霊の啓導と充満
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

己紹介をして貰います。(これは時間の
都合で「祈の細胞」の時に廻す)。とに
かく私たちは夫々が背景から来て
いるが、それらの相異にも拘らず、イエ
スを主とする交わりに入ることができ
喜びが待っていることを伝えます。『キ
リストに属する全ての者はキリストに属
する全ての者に属する』ことを実感する
ように伝えましょう。

▽開心の時

いよいよアシュラムそのものに入るの
がこの時です。主に向って各自の心を開
き、まず自分の罪と不信仰を告白し、一
切をキリストに明渡しして、主の御助けを
必要としている自分を認めるのです。

ヤコブ(五章一六)の勧告に従い、パ
ウロ(ガラテヤ三章二八)の宣言を受入
れる者となるために、各自は正直に自分
のニード(必要)を述べましょう。自分
のことを棚上げして、心に何らかの垣根
をめぐらしては、主の恵みも聖霊も
受けることはできません。従って開心の時
に徹底的な明渡し(サレンダー)がなさ
れることは、アシュラム全体にとって最
も大切な出発点であります。

この告白においてこそ、私たちの罪を
贖ない、赦し、救うために来て下さった
イエスを救主と信じる信仰が確立して、
私たちはみんなが主の助けを必要とする
同志であることが判ります。そこに主に
ある交わりが生まれ、神の愛による医し
が起るのです。告白は余りに具体的に長
々とやわなくともよいのでしよう。主は
全てを御存知です。簡潔に成可く多くの
人が発言するようにしましょう。

迎えたことを知り主の御栄光を拜した。

夕食後は事務会に移り、過去二年の事業報告、ジョーンズ博士記念事業募金の経過報告、七五年九月紙上理事会として榎本牧師との連絡方法につき高瀬理事長の提案を問合せた結果、条件について検討した上で賛成との答が大多数であったため検討の機会を待つていたが、その後同牧師から一切を白紙に返してくれる様にとの通信あり、この件は廢案となった

會計報告は七四年度は二八万余円であったが、七五年度は各地区の分担金も多くあり、有志の賛助献金も捧げられ、四二万余円の収支で、十二万円の次期繰越をするので感謝。夜八時から晩禱を中路理事の司会で守り、理事推薦の件を地区代表理事六名に依頼して就寝。翌九日午前七時から静聴の時を山根理事司会の下に守り、各自示された御言と恵みとを分ち合い豊かな霊の糧に養われた。朝食後は会場を近くの大倉氏宅(碑文谷教会員)に移し、推薦理事を加えて役員改選を行なった。結果(顧問)高瀬恒徳(理事長)海老沢宜道(副理事長)中路嶋雄(総務理事)大石嗣郎(書記理事)横山義孝、内村サムエル(財務理事)鈴木留蔵、萱沼孝之の諸氏が選ばれた。

新理事長に選ばれた海老沢宜道氏は、前理事長に対する感謝と共に理事長就任の挨拶を述べ一同の擁護を願った。次に七六―七七年度の運動方針を検討し、各地区主催の強化。五大原則の徹底。海外からの奉仕者は迎えず相互応援を計画。地区内の県単位、或は都市単位

のアシュラム開催。第三回世界大会には団体を組織して参加すること等を決定。新年度の予算として分担金、賛助金を強化して収支五五万七千円とし、理事の地区応援旅費を支出することとした。

閉会礼拝を池本理事の司会奨励のもとに守り、海老沢理事長の祈りを以て、第五回理事会を感謝のうちに終了した。

▼予告

今年度のアシュラムを既に計画している所は次のようである。尚各地の準備が速やかに進められるように祈るう。

○新潟県栃尾アシュラム(第二回) 五月二三日(日)―二四日(月)

○江古田教会リトリート(第二四回) 八月七日(土)―九日(月) 箱根

○道南アシュラム第七回(函館) 八月十四日(土)―十六日(月)

○中部アシュラム第八回(名古屋) 八月十四日(土) 十五日(日)

○関東アシュラム第十五回(福音の家) 九月十四日(火)―十六日(木)

○岩手地区アシュラム(生活学校寮) 九月二四(金)―二六日(日)

○東北アシュラム(第六回) 鳴溪荘 十月十八日(月)―二十日(水)

次号には主催者、申込先などにつき更に詳細な予告ができると思います。

▼連盟理事会の新陣容

役員と各地区代表理事の住所氏名は次の通り。向う二ヶ年(七六―七七)の御奉仕の上に主の御導き豊かに在るよう全国の同志兄弟姉妹の御加禱を願う。

○顧問、高瀬恒徳 東京都文京区西片二 一六一―二

理事長 海老沢宜道 東京都練馬区三原 台一―八一―

副理事長 中路嶋雄 大阪市北区神山町 七九

(関西代表) 総務理事 大石嗣郎 東京都目黒区中央 町一―二一―〇

書記理事 横山義孝 川口市西青木一 二五―二一

(関東代表) 同 内村サムエル 名古屋市昭和 区安田通二―一七

(中部代表) 財務理事 鈴木留蔵 船橋市前西二―二 九―一四

同 萱沼孝之 東京都世田谷区上 北沢三―二一―五

常任理事 山根可弐 東京都新宿区下落 合四―一三―一〇

同 池本金三郎 三鷹市上連雀二 一〇―二四

▼各地区代表理事

道南・白川鄭二 函館市松陰町九―一六

東北・村上 東 郡山市清水台二―一六

関西・後宮俊夫 京都市伏見区桃山町泰 長老一七五

(新任)林 勝義 大阪市生野区勝山通五

中国・谷本 清 広島市上磯町九―一三

四国・宇都宮充 松山市二番町三―一五

九州・山本繁夫 北九州市門司区藤松一 二―二九

ジョーンズ博士記念献金

目標の達成に御協力を!

故博士が希望されたガラヤ湖畔のセ

ンター建設、その他の事業のため、米国の六〇万ドルに協力、日本の八地区で一萬ドルを募金中、目標まであと僅かになった。ぜひ有志の御協力を祈る。

第十一回献金報告

(七六年一月―三月末)

▼一万円 高瀬 恒徳(関東・テモテ)③

” 村上 東(東北・郡山)④

” 萱沼 孝之(関東・松沢)③

▼五千元 伊藤 愛信(関東・深谷)②

” 西川口アシュラム(関東)②

▼四千元 江古田教会(関東)②

” 工藤 ふみ(道南・函館)②

” 那倉 一夫(関東・清瀬)②

▼二千元 黄木 つね(東北・米沢)②

▼一千元 海老沢すま(関東江古田)②

小計(十件) 金 五三、〇〇〇円

累計 金 三、三四一、八〇〇円

◆連盟を支える力

(七六年一月―三月末までの有志の賛助献金は左の通り)

▼一万円 中路 嶋雄(関西・扇町)②

” 鈴木 留蔵(関東・船橋)②

▼一千元 山根 恵代(”・池ノ上)②

以上感謝をもって拝受いたしました。

日本連盟の事務所変更

大石嗣郎氏が、総務理事になられたので、連盟事務一切も同氏方において取扱われることになった。分担金や有志賛助献金も左記宛にお送り願います。

東京都目黒区中央町一―二一―一〇

日本クリスチャン・アシュラム連盟

振替口座東京〇―四五五八番

参加者が何度でも読むべきもの アシュラムとは何か(60頁)

10付 道 郎 円 00